
PlayStation
最強
東大将棋
第8回コンピュータ将棋選手権優勝
MYCOM
毎日コミュニケーションズ

ごあいさつ

このたびは、毎日コミュニケーションズのプレイステーション専用ソフト「最強　東大将棋」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。ゲームを始める前にこの解説書をよくお読み頂き正しい使用方法でご愛用ください。また、この解説書は重要なものですので、大切に保管してください。

お問い合わせ
〒102－0074　東京都千代田区九段南１－５－13　共同ビル２号館
株式会社毎日コミュニケーションズ　ソフト事業開発課
TEL．03－3230－3758
FAX．03－3230－0646

ゲーム内容についてのお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

スタッフ

プロデューサー・企画原案	小川 明久
メインプログラム	赤木 秀充
思考プログラム	棚瀬　寧
	後藤 礼史
	岸本 章宏
サブプログラム	出町 浩一郎
グラフィック	山岸　誠
サウンド	株式会社ジェミニカンパニー
中級詰将棋提供	伊藤　果七段
初級詰将棋提供	週刊将棋
棋力認定問題提供	週刊将棋
棋譜提供	関東学生将棋連盟
読み上げ、写真提供	碓井 涼子女流初段
営　業	林　常樹、鎌田　隆
広　報	菅野 喜之
パッケージデザイン	有限会社マイルズ
スーパーバイザー	古作　登（週刊将棋編集長）
Special Thanks	大崎 千明、雨宮 知典
	下村 龍正、中島　一
	日比生 康弘、西地　明
	週刊将棋編集部
	関東学生将棋連盟
制　作	株式会社毎日コミュニケーションズ
	有限会社ラット
製作・販売	株式会社毎日コミュニケーションズ

For Japan Only　プレイヤー 1-2人　メモリーカード 2ブロック　アナログコントローラ対応（振動のみ）

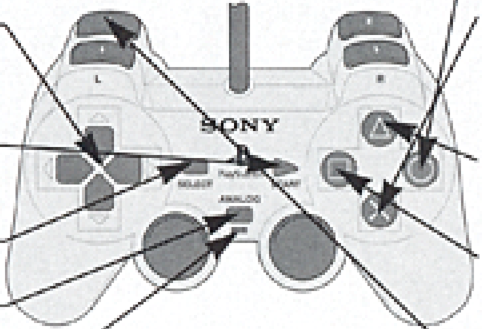
SLPS 01679

最強 東大将棋　目次

コントローラの使い方

このゲームは1～2人用です。1人で遊ぶ場合はアナログコントローラまたはコントローラを本体のコントローラ端子1に正しく接続してください。2人で遊ぶ場合はアナログコントローラまたはコントローラを本体のコントローラ端子1と2にそれぞれ正しく接続してください。

［アナログコントローラ］



方向キー
・カーソルの移動に使用します。
・棋譜再現時に使います(10ページ参照)。

STARTボタン
・ゲームを始めるときに使います。

SELECTボタン
・使いません。

ANALOGモードスイッチ
・使いません(振動のON／OFFについては24ページ参照)。

LED
・振動ONのときも消灯。

○ボタン
・選択項目の決定に使います。
・定跡対局の棋譜スキップに使います。

×ボタン
・選択項目のキャンセルに使います。
・詰将棋解答中の強制終了に使います。

△ボタン
・盤面編集の駒の切り替えに使います。

□ボタン
・メニューを開きます。
・棋譜鑑賞の手順ストップに使います。

L2ボタン
・カーソルを駒台にジャンプさせます。

［コントローラ］

コントローラもアナログコントローラと操作方法は同じです。



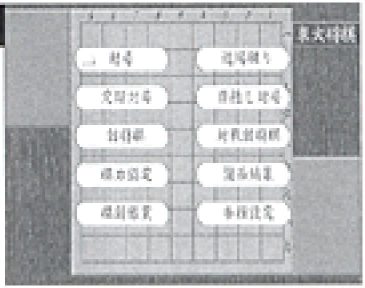
ゲームの始め方



タイトル画面

①2ブロック以上空き容量のあるメモリーカードをメモリーカード差込口1に正しく差し込んでください。メモリーカードがなくても遊ぶことはできますが、棋譜や情報を保存することができません。また2回目以降は前回使用したメモリーカードをご使用ください。システムファイルを読み込みます。
②プレイステーション本体に「最強　東大将棋」のディスクを正しくセットして、POWERボタンを押してください。タイトル画面が表示されます。
③タイトル画面でSTARTボタンを押すとメインメニュー画面が現れます。
④タイトル画面でSTARTボタンを押さずにいると、オープニングデモが開始します。ここでSTARTボタンを押しても③同様メインメニュー画面に移ります。

メニューの選び方


メインメニュー

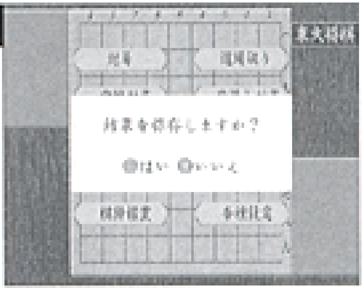
メインメニューは「対局」「道場破り」「定跡対局」「目隠し対局」「詰将棋」「対戦詰将棋」「棋力認定」「盤面編集」「棋譜鑑賞」「各種設定」に分かれています。

メニューを選ぶには駒の形をしたカーソルを方向キーで合わせて○ボタンで決定します。メインメニュー画面では、そのつどメモリーカードのチェックをします。システムファイルが変更されていると、「結果を保存しますか？」というメッセージが表示されます。「はい」（○ボタン）か「いいえ」（×ボタン）を選択してください。

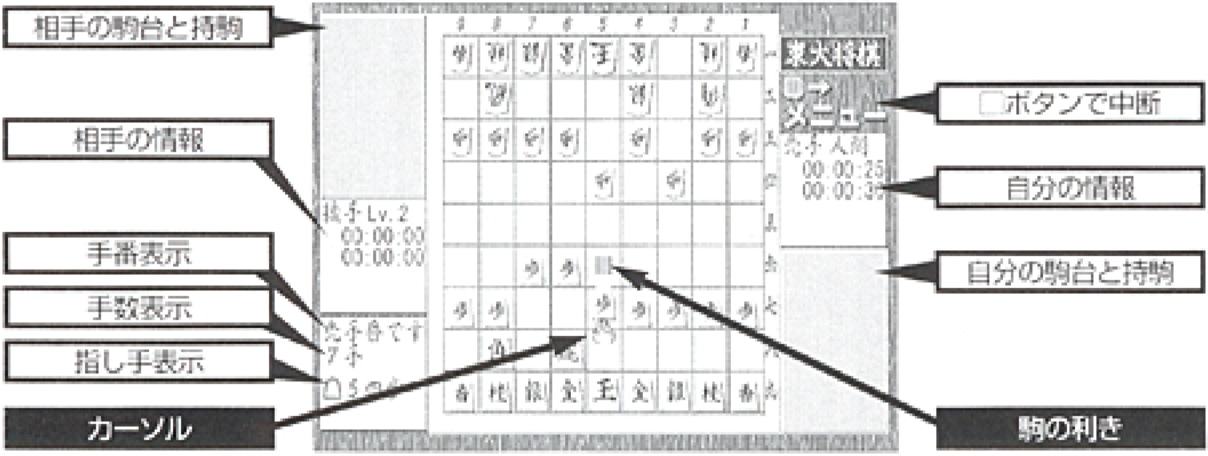
ゲームの終わり方

ゲームを終了するときは必ずメインメニュー画面でPOWERボタンを押して電源を切ってください。

プレイ中に電源を切ったり、リセットボタンを押さないようご注意ください。


結果保存のメッセージ

対局画面の見方



※自分を手前に表示している場合です。
コンピュータの思考中はボタン操作を行えません。

通常対局の情報表示



①現在の指し手の消費時間
②通計消費時間

時間制限対局の情報表示



①現在の指し手の消費時間
②残り時間
③秒読み時間
④残りの考慮時間の回数

考慮時間中の情報表示



①現在の指し手の消費時間
②考慮時間中の消費時間
③秒読み時間
④残りの考慮時間の回数

対局

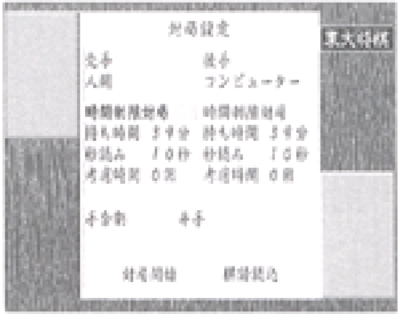
コンピューターとの対局、人間同士の対局ができます。

●対局設定

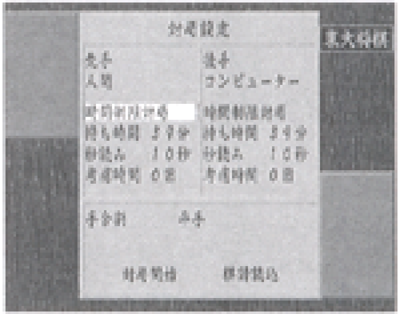
メインメニュー画面でカーソルを「対局」に合わせて○ボタンを押すと対局設定画面になります。ここでは対局者、持ち時間、手合割を設定します。

操作方法

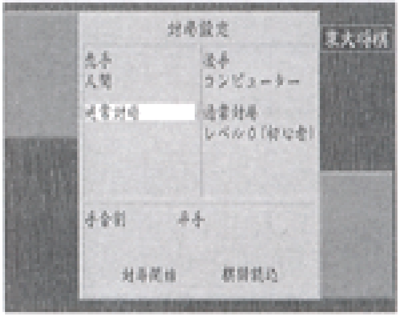
①方向キーを上下に動かしてカーソルを変更したい項目に合わせます。
②変更する場合は○ボタンを押します。画面が反転しますので、方向キーの上下で項目を選択して○ボタンで決定します。
③すべての項目を決定したら、「対局開始」にカーソルを合わせて○ボタンを押します。



①カーソルを変更をしたい項目に合わせて○ボタンを押します



②画面が反転

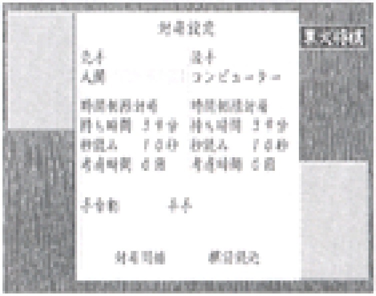


③方向キーで項目を選択して○ボタンを押します

●はじめから対局する場合

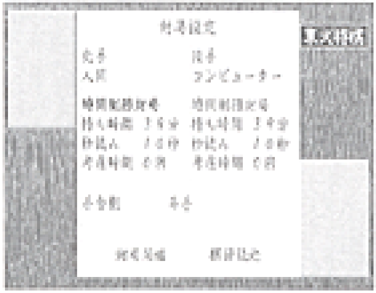
対局者の決定

対局者は人間かコンピューターかを決定します。ただし、コンピューター同士の対局はできません。左側が先手、右側が後手となります。また駒落ち対局の場合は左側が下手、右側が上手となります。



通常対局と時間制限対局

通常対局か時間制限対局かを決定します。通常対局は時間無制限で対局するルール、時間制限対局は持ち時間を設定するより厳しいルールでの対局となります。時間制限対局では「待った」や、「ヒント」も使えません。なおどちらか片方が通常対局でもう一方が時間制限対局といった設定はできません。

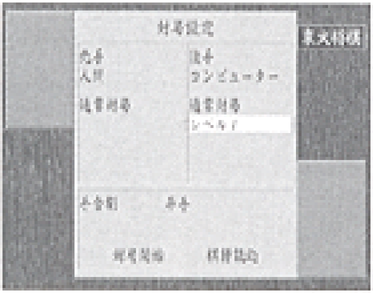


通常対局か時間制限対局かを選ぶ

通常対局のレベル設定

コンピューターと通常対局をする場合は、コンピューターのレベルを設定することができます。通常対局を選択した後、カーソルをレベルの項目に合わせて○ボタンを押し、画面が反転したら方向キーの上下でレベルを選択して、再度○ボタンで決定します。

レベル設定は初期の状態ではレベル0（初心者用）～4まで選択可能です。平手でしかも「待った」、「ヒント」、「対局者変更」を使わずにレベル4に勝つとレベル5（最強）との対局が行えるようになります。



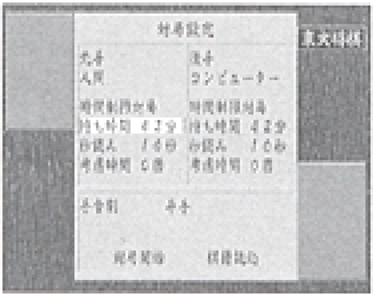
レベルを選ぶ

時間制限対局の時間設定

コンピューターと時間制限対局をする場合は持ち時間によってコンピューターのレベルも変化します。なお人間同士で時間制限対局する場合は時間に差を付けることが可能ですが、コンピューターと対局する場合は自動的に同じ時間設定となります。

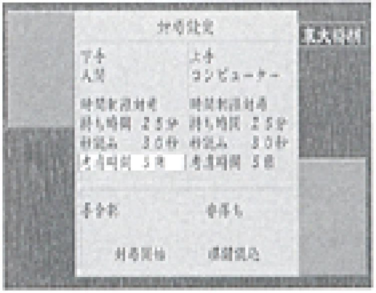
①持ち時間＝0分～99分まで1分単位で設定できます。

②秒読み＝なし、または10秒～60秒まで10秒単位で設定できます。
持ち時間がなくなると、次の手を一定時間の間に指さなければなりません。これが「秒読み」です。1、2、3……と秒読みが始まり、10を読まれると時間切れ負けとなります。なお秒読みなしを設定した場合は、アマチュアの大会などでよく用いられる時間切れ負けルールでの対局となります。この場合は持ち時間を0分にすることはできません。



時間の設定

③考慮時間＝1分単位で0回から10回まで設定できます。
持ち時間を使い切り、秒読みでの対局となっても勝負どころではもっと時間を使いたいときがあります。そんなとき、考慮時間が設定してあると秒読みの時間をオーバーしても、1分間は次の手を考えることができます。考慮時間は一手に2回以上取ることも可能です。なお秒読みの音声は考慮時間が残っているときは5秒と8秒だけを読み、なくなると1、2、3……と1秒単位で読み上げます。ただし1手10秒の秒読みの場合に限り、5から読み始めます。秒読みをなしに設定している場合は考慮時間の設定もできません。

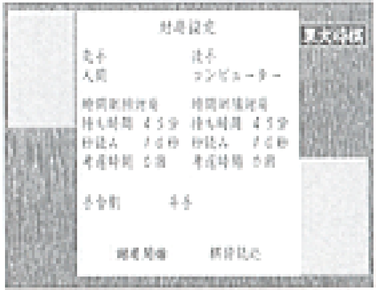

考慮時間の設定

手合割の設定

平手か駒落ち対局かを決定します。平手（対等に駒が並んでいる状態）、香落ち、角落ち、飛車落ち、飛香落ち、二枚落ち、四枚落ち、六枚落ちの7通りから選んでください。

対局開始

すべての設定が終わりましたら、「対局開始」にカーソルを合わせて◯ボタンを押してください。対局が始まります。


対局開始

●続きから対局を始める場合

①メインメニュー画面で「対局」を選んでください。
②データの入っているメモリーカードがメモリーカード差込口1に正しく差し込まれているか確認してください。
③対局設定画面が現れたら「棋譜読込」にカーソルを合わせて◯ボタンを押すとメモリーカードを読み込みます。このときメモリーカードを抜かないようご注意ください。
④読み込みたいファイルに合わせて◯ボタンを押してください。読み込みが終了すると保存した局面から同じ条件のままで対局が再開されます。


ファイルを選ぶ画面

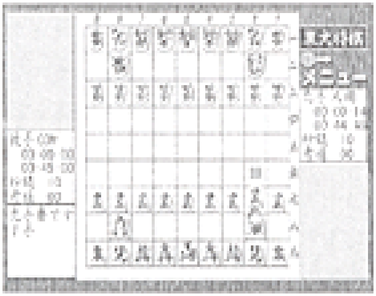
●駒の動かし方

①指形のカーソルを動かしたい駒に合わせ、○ボタンで決定します。すると動かせる位置には印がつきます（歩以外の持駒を除く）。

②カーソルを動かしたい場所に持っていき、○ボタンで決定します。

③L2ボタンを押すとカーソルを自分の駒台にジャンプさせることができます。もう一度押すと元の位置に戻ります。

④駒が成れる場合は着手を決めた後、「成りますか？」というメッセージが表示されますので、成る場合は○ボタン、成らない場合は×ボタンを押してください。
なお、このメッセージが表示されている間は時間のカウントがストップします。ただし、着手のキャンセルはできません。



駒を持つ

●禁じ手と反則について

将棋には「二歩」「行き所のない駒」「打ち歩詰め」といった禁じ手がありますが、二歩と行き所のない駒に関しては初めから指せないように設定されています。打ち歩詰めは負けとなります。

玉が相手の駒の利きに動いたり、王手を見逃したりするなどで、玉を取られた場合はただちに負けとなります。



成りますか？

●千日手と持将棋について

将棋には「千日手」「持将棋」という引き分けのルールがあります。同一局面が4回現れると千日手が成立します。ただし、連続王手の千日手は王手を掛けている側の負けとなります。

プロの対局では双方の玉が敵陣に入って勝負がつきにくくなった場合、持将棋の規定（相入玉の場合、大駒1枚を5点、小駒1枚を1点として計算し、互いに24点以上あれば持将棋成立）が適用されますが、「最強　東大将棋」では持将棋の設定を行っていません。プレイヤーが判断して対局を終了してください。



千日手成立のメッセージ

●対局中のメニュー

対局中は自分の手番のときに限り、□ボタンでメニューを開けます。このとき時間のカウントはストップしますので、一時停止機能としても使用できます。

通常対局でのメニューは「待った」「ヒント」「投了」「盤面反転」「対局者変更」「棋譜再現」「棋譜保存」「対局終了」「対局再開」が選択できます。カーソルを選択したい項目に合わせて○ボタンで決定します。

時間制限対局でのメニューは「投了」「盤面反転」「対局終了」「対局再開」が選択できます。



通常対局中のメニュー



時間制限対局中のメニュー

待った

通常対局では悪い手を指したときなどに局面を戻すことができます。「待った」にカーソルを合わせると、○ボタンを1回押すことに局面が2手ずつ戻ります。×ボタンで対局が再開されます。

「待った」を使用して勝ってもレベルは上がりません。

ヒント

通常対局ではコンピューターに次の一手を聞くことができます。「ヒント」にカーソルを合わせて○ボタンを押すと、コンピューターのレベルを選ぶメニューが現れます。「初級」、「中級」、「上級」、「研究」の中から選んでください。コンピューターの思考時間は初級＝10秒以内、中級＝30秒以内、上級＝2分以内、研究＝無制限に設定されています。コンピューターの思考中は中断できませんので、時間のないときには「研究」を使用しないでください。

「ヒント」を使用して勝ってもレベルは上がりません。



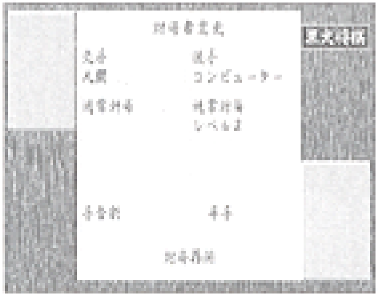
ヒントはレベルを選ぶ

投了

投了（詰んでいない局面で負けを認めること）します。

盤面反転

盤面を反転します。なお人間とコンピューターとの対局では、対局開始時、人間側が手前に表示されます。



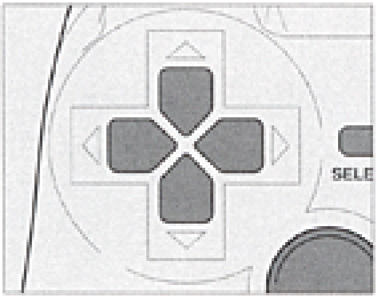
対局者変更

対局者変更

通常対局では対局設定画面に戻って対局者を変更することができます。コンピューターのレベル変更やコンピューター側と入れ替えて指し続けたいときに使います。

棋譜再現

通常対局では棋譜を再現することができます。操作方法は右図のように方向キーの四方向に対応しています。再現が終了したら、○または×ボタンを押してください。対局が再開します。



方向キーの右＝進む、左＝戻る、上＝初期盤面に進む、下＝最終盤面に戻る。右、左は押し続けると動作が連続します。

棋譜保存

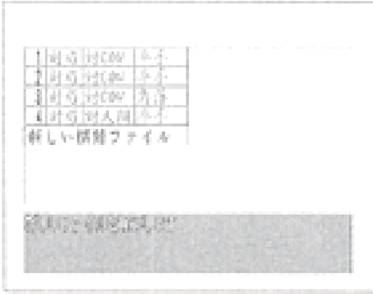
通常対局ではメモリーカードを使用して棋譜を保存します。メモリーカードは１つの棋譜につき１ブロック使用します。「新しい棋譜ファイル」にカーソルを合わせて○ボタンを押してください。

対局終了

対局を終了してメインメニュー画面に戻ります。

対局再開

対局画面に戻り、中断していた対局を再開します。



保存するファイルを選ぶ

●終局後の操作

対局は投了、詰み、時間切れ（時間制限対局のみ）、反則によって勝敗が決まります。終局後は通常対局、時間制限対局とも同じ操作となり、方向キーで「棋譜再現」ができます。○または×ボタンでメインメニュー画面に戻ります。「棋譜保存」は□ボタンでメニューを開いて実行してください。

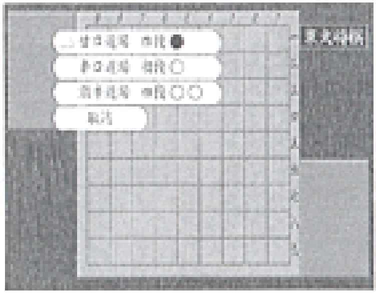
道場破り

あなたの棋力によって持ち時間や手合割が決定します。
勝敗によって棋力が変動し、将棋道場に行った気分が味わえます。

●道場の選択

　メインメニュー画面で「道場破り」を選択すると、道場選択メニューが現れます。持ち時間がある「甘口道場」、初手から秒読みの「辛口道場」、切れ負けルールの「激辛道場」の中から選んでください。

　初めて挑戦する場合は、4級から四段までお好みの段級位が選択できます。2回目以降は最初のときの段級が適用されます。道場名の右に表示されているのが棋力と勝敗状況です。



お好みの「道場」にチャレンジ

●対局開始と終了

　道場を選択するとそれぞれの時間設定で対局が始まります。対局中、終局後は時間制限対局と同じ操作方法となります。終局後に×ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。

●昇級、降級

　各道場とも3連勝で昇段・昇級、3連敗で降段・降級となります。最高六段まで設定されています。

　各道場の手合割と時間設定は右表の通りです。

■ 道場破り・各道場のルールと手合割

	甘口道場	辛口道場	秒読み		激辛道場	切れ負け	
段級	手合割	手合割	自分	相手	手合割	自分	相手
六段	二枚	二枚	10秒	20秒	二枚	4分	8分
五段	飛香	飛車	10秒	20秒	飛車	4分	8分
四段	飛車	平手	10秒	20秒	平手	4分	8分
三段	角	平手	10秒	10秒	平手	4分	4分
二段	後手	平手	20秒	10秒	平手	8分	4分
初段	平手	平手	20秒	20秒	平手	8分	8分
1級	先手	平手	30秒	20秒	平手	12分	8分
2級	角	角	30秒	20秒	角	12分	8分
3級	飛車	飛車	30秒	20秒	飛車	12分	8分
4級	飛香	飛香	30秒	20秒	飛香	12分	8分
5級	二枚	二枚	30秒	20秒	二枚	12分	8分
6級	四枚	四枚	30秒	20秒	四枚	12分	8分
7級	六枚	六枚	30秒	20秒	六枚	12分	8分

甘口道場はお互いの持ち時間5分、秒読み30秒、考慮時間5回の設定となります。

定跡対局

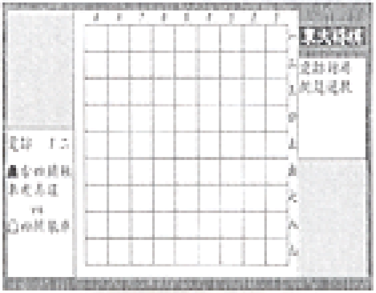
定跡の途中局面から対局することができます。定跡とは実戦や研究を通じて最善とされてきた指し手のことです。81通りの基本定跡が収められていますので、正しい序盤の手順を勉強することもできます。

●定跡対局の手順

①定跡選択

メインメニュー画面で「定跡対局」を選択すると定跡選択画面が現れます。将棋盤の升目にカーソルを合わせると、定跡名が左下に表示されます。○ボタンで決定してください。

なおコンピューターと対戦して勝った場合は、盤面から画像が現れます。負けた場合は赤い×マークがつきます。勝敗は画面の右中央に表示されます。



81通りの定跡が選べる

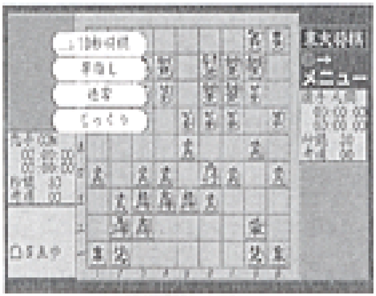
②定跡再現

定跡を選択すると対局画面に移り、定跡手順が再現されます。ここで○ボタンを押すと最終局面にスキップします。

最終局面に到達すると、「引き続き対局しますか？」というメッセージが表示されますので、「はい」（○ボタン）か「いいえ」（×ボタン）を選んでください。

③時間選択

○を選ぶと時間選択画面が現れます。「10秒将棋」「早指し」「通常」「じっくり」の中から選んでください。



定跡対局の時間選択画面

④対局中は□ボタンでメニューを開き、「投了」、「対局再開」が選択できます。終局後の操作は通常対局と同じです。

⑤定跡選択画面で×ボタンを押すと、メインメニュー画面に戻ります。

■ 定跡対局の時間設定

	持ち時間	秒読み	考慮時間
10秒将棋	なし	10秒	なし
早指し	3分	20秒	3回
通常	5分	30秒	5回
じっくり	25分	40秒	10回

■ 定跡一覧

No.	戦法
1	先手山田定跡－後手四間飛車
2	先手山田流９七角－後手四間飛車
3	先手鷺宮定跡－後手四間飛車
4	先手４六銀戦法－後手四間飛車
5	先手４五歩戦法－後手四間飛車
6	先手棒銀戦法－後手四間飛車
7	先手四間飛車－後手居飛車急戦
8	先手５七銀右急戦－後手四間飛車
9	先手右四間飛車急戦－後手四間飛車
10	先手右四間飛車左美濃－後手四間飛車
11	先手右四間飛車穴熊－後手四間飛車
12	先手左美濃急戦－後手四間飛車
13	先手四枚美濃－後手四間飛車
14	先手５筋位取り－後手四間飛車
15	先手玉頭位取り－後手四間飛車
16	先手居飛車穴熊－後手四間飛車４五歩型
17	先手居飛車穴熊－後手四間飛車銀冠
18	先手四間飛車居玉急戦－後手居飛車穴熊
19	先手四間飛車穴熊－後手斜め棒銀
20	先手四間飛車穴熊－後手６四銀戦法
21	先手四間飛車穴熊－後手棒銀戦法
22	先手四間飛車穴熊－後手左美濃急戦
23	先手四間飛車穴熊－後手四枚美濃
24	先手四間飛車穴熊－後手銀冠
25	先手四間飛車穴熊－後手居飛車穴熊
26	先手居飛車急戦－後手三間飛車４三銀型
27	先手居飛車急戦－後手三間飛車４二銀型
28	先手三間飛車－後手居飛車急戦３三角型
29	先手三間飛車－後手７五歩早仕掛け
30	先手三間飛車７六飛型－後手居飛車穴熊
31	先手三間飛車８八飛型－後手居飛車穴熊
32	先手三間飛車５七銀型－後手居飛車穴熊
33	先手升田式石田流
34	先手３八飛戦法－後手中飛車
35	先手４六金戦法－後手中飛車
36	先手棒銀戦法－後手中飛車
37	先手中飛車－後手居飛車穴熊
38	相振り飛車先手金無双－後手金無双
39	相振り飛車先手矢倉－後手金無双
40	相振り飛車先手矢倉－後手穴熊
41	横歩取り後手２三歩型
42	横歩取り後手３三角型
43	横歩取り後手３三桂型
44	横歩取り後手４五角戦法
45	相横歩取り
46	相掛かり先手腰掛け銀後手８四飛型
47	相掛かり先手腰掛け銀後手８二飛型
48	相掛かり先手３七銀型後手８二飛型
49	相掛かり先手３七桂型後手８四飛型
50	相掛かり後手７二銀型急戦
51	相掛かり先手５八玉戦法
52	相掛かり後手鎖鎌銀
53	先手タテ歩棒銀
54	先手ひねり飛車－後手金美濃
55	先手ひねり飛車－後手３三金型
56	角換わり相腰掛け銀先後同型
57	角換わり相腰掛け銀後手４四銀型
58	角換わり相腰掛け銀後手６五歩型
59	角換わり先手棒銀後手５四角型
60	角換わり先手棒銀後手１四歩型
61	角換わり後手棒銀急戦
62	角換わり後手棒銀持久戦
63	角換わり早繰り銀
64	角換わり後手右玉
65	角換わり筋違い角
66	相矢倉先手森下システム－後手７三銀型
67	相矢倉先手森下システム－後手５三銀～５五歩型
68	相矢倉先手森下システム－後手７三角型
69	相矢倉先手森下システム－後手スズメ刺し
70	相矢倉先手３七銀戦法急戦
71	相矢倉先手３七銀戦法脇システム
72	相矢倉先手３七銀戦法－後手７三銀型
73	相矢倉先手３七銀戦法－後手５三銀型
74	相矢倉先手３七銀戦法－後手８四歩型
75	相矢倉後手６二飛戦法
76	相矢倉後手米長流急戦
77	相矢倉先手二枚銀急戦
78	相矢倉後手矢倉中飛車
79	相矢倉後手５筋交換型
80	相矢倉後手急戦棒銀
81	相矢倉後手右玉

目隠し対局

**盤面を隠したままコンピューターと、または人間同士で対局することができます。
盤面を正確に覚える記憶力が必要となります。**

●対局者の決定

メインメニュー画面で「目隠し対局」を選択すると、「対COM」、「人間同士」というメニューが現れます。コンピューターと対戦する場合は「対COM」、人間同士で対戦する場合は「人間同士」を選択してください。

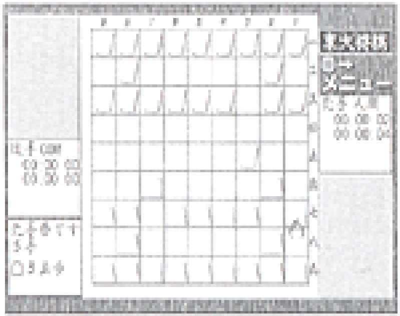


目隠し対局の対局者選択画面

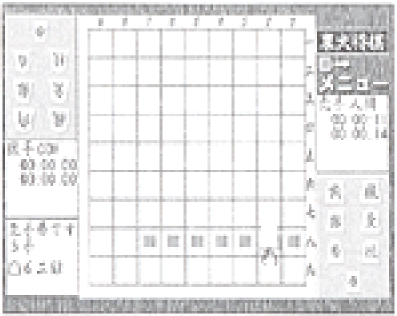
●目隠しのスタイルについて

目隠し対局のスタイルには駒の存在と利きを示す初級タイプ、駒の利きを示す中級タイプ、何も示さない上級タイプがあります。上級タイプでは駒がどこにいるか全く分からなくなります。不完全な着手は反則となりますので、ご注意ください。また、王手も表示されません。

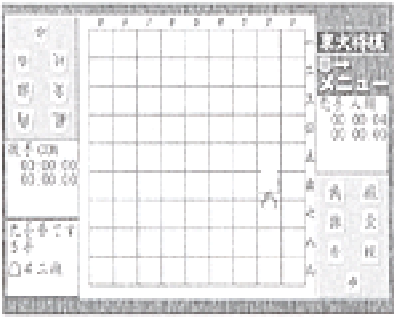
初級タイプ



中級タイプ



上級タイプ



●コンピューターと目隠し対局する場合

コースの選択

コンピュータと対局する場合、1級コース～六段コースまで7段階のコースが用意されています。カーソルを合わせて○ボタンで選択してください。勝ったことのあるコースには○がつきます。

なお六段コースに勝つと、名人コースが新たに現れます。今度はコンピューターと時間制限対局（持ち時間10分、秒読み30秒、考慮回数10回）で対戦することとなります。

対局開始

すべて平手での対局となります。コースを選択すると自動的に先後が決まり、目隠し対局が始まります。コンピューターはほとんどの場合、1手10秒以内に着手してきます。

●人間同士で目隠し対局する場合

対局設定画面で以下の項目を選択してください。

①通常対局か時間制限対局を選択
時間制限対局では待った、カンニングが使えません。時間制限対局の場合は持ち時間、秒読み、考慮回数を選択してください。お互いに差を付けることも可能です。

②手合割

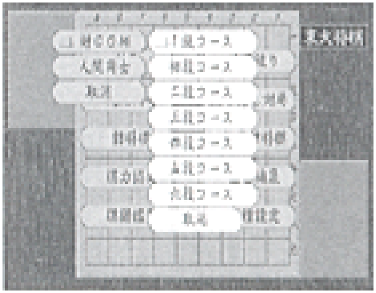
③目隠しのスタイル
初級、中級、上級の中から選んでください。

④反則許容回数
なしから10回までまたは無制限を選択してください。お互いに差を付けることも可能です。

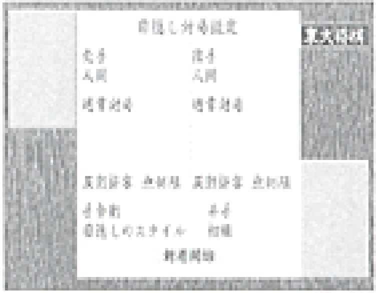
項目が決定したら対局開始を選択してください。

■ 目隠し対局のルール

コース	タイプ	待った	カンニング	反則
1級	初級	○	○	−
初段	初級	×	×	−
二段	中級	○	○	−
三段	中級	×	×	−
四段	上級	○	○	無制限
五段	上級	×	×	10回
六段	上級	×	×	なし



目隠し対局のコース選択



人間同士の目隠し対局設定画面

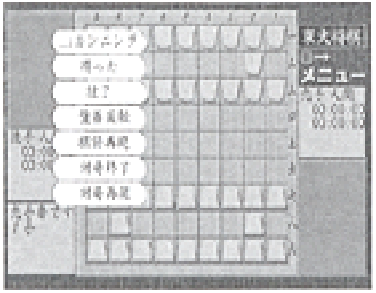
●操作方法

駒を動かす操作は通常の対局と同じです。

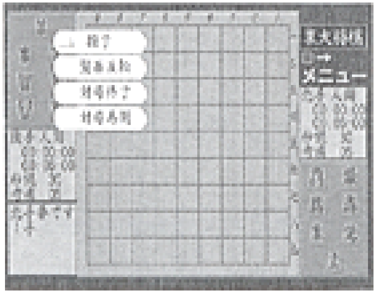
目隠しスタイルが上級タイプ（四段～六段コース）の場合、持ち駒はあらかじめ駒台にすべて表示されていますが、持っていない駒を使うと反則となります。

●目隠し対局中のメニューについて

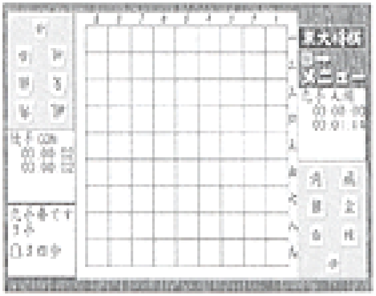
対局中は自分の手番のときに限り、□ボタンでメニューが開けます。操作は通常の対局と同じですが、ルールによって使えない項目があります。



目隠し対局中（通常対局）のメニュー画面



目隠し対局中（時間制限対局）のメニュー画面



目隠し対局中の棋譜再現

カンニング

カンニングを選ぶと現在の盤面を正しく見ることができます。10秒で元の状態に戻り、対局が再開されます。

待った

通常の対局と同じですが、盤上の駒は見えずに棋譜だけが戻ります。

投了

投了します。

盤面反転

盤面を反転します。

棋譜再現

棋譜を再現します。ただし、盤面は見えません。

対局終了

目隠し対局を終了してメインメニュー画面に戻ります。

対局再開

中断していた目隠し対局を再開します。

●終局後の操作

目隠し対局は投了、詰み、反則によって勝敗が決まります。○ボタンで対局終了を確認してください。盤面が通常の状態に戻り通常の対局と同じ操作ができます。

盤面編集と継続対局

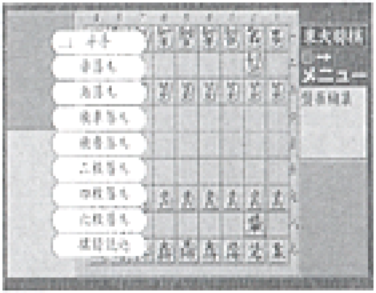
盤面を自由に編集し、継続対局することができます。

●盤面編集の手順

メインメニュー画面で「盤面編集」を選択してください。手合割と「棋譜読込」に関するメニューが現れます。

初期盤面からの編集

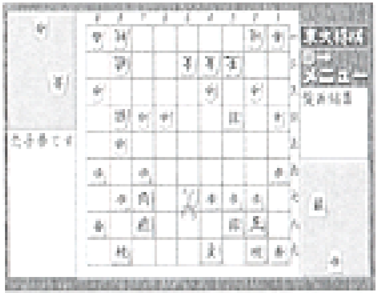
編集したい盤面の手合割を選択してください。なお平手、香落ち、角落ち、飛車落ち、飛香落ち、二枚落ち、四枚落ち、六枚落ち以外の盤面編集はできません。選択するとそれぞれの初期盤面が現れます。



手合割か棋譜読込を選ぶ

棋譜を元にした盤面編集

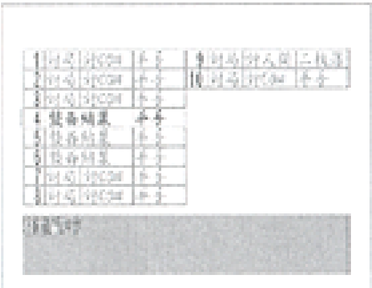
あらかじめ保存されている棋譜を元に盤面を編集したい場合は、「棋譜読込」を選択してください。読み込んだ棋譜の最終盤面が現れます。方向キーで棋譜を戻すことができます。編集したい盤面になったら○ボタンを押してください。「盤面編集」が可能となります。



△ボタンで駒の向きを変える

盤面読込

あらかじめ保存されている盤面を読み込む場合は「棋譜読込」を選択してください。読み込み後は○ボタンで「盤面編集」が可能になります。



盤面を読み込む

盤面編集

対局での駒操作の要領で駒を動かして盤面を編集します。駒の向きを変えたいとき、駒を成らせたいときは△ボタンを押します。またL2ボタンで駒台にカーソルをジャンプすることができます。

手番の表示

盤面の左下に手番が表示されています。変更するときは□ボタンでメニューを開いてください。

●盤面編集中のメニュー

盤面編集中に□ボタンでメニューを開くことができます。

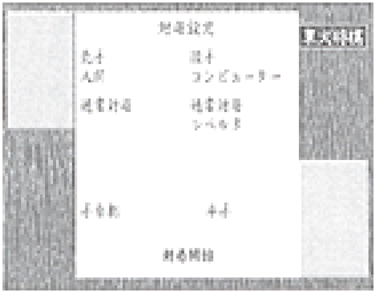


盤面編集中のメニュー

継続対局

編集した盤面から継続対局をすることができます。

カーソルを合わせて○ボタンを押すと対局設定画面に移ります。以下は通常の対局と同じです(手合割の設定を除く)。ただし禁じ手や手順側の王手など、正しい盤面でない場合は継続対局ができません。



継続対局を選択すると対局設定画面へ

手番の変更

手番を変更します。通常は先手番または上手番となっています。カーソルを合わせて○ボタンで変更します。

盤面反転

盤面を反転します。

盤面保存

編集した盤面を保存します。1つの盤面につき、メモリーカードの1ブロックを使用します。手順は棋譜保存と同様です。



盤面が正しくないメッセージ

編集終了

盤面編集を終了してメインメニュー画面に戻ります。

編集再開

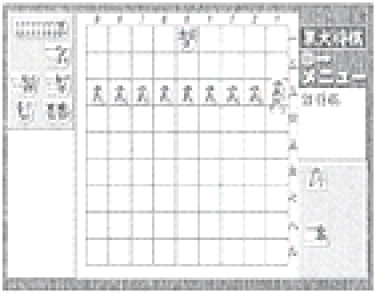
盤面編集画面に戻ります。

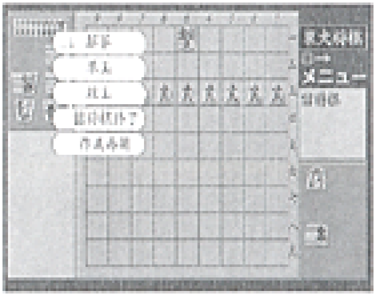
詰将棋

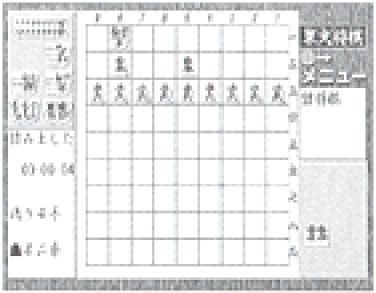
詰将棋（15手詰め程度まで）をコンピューターに解かせることができます。
ただし正しい手順で詰ますとは限りません。

●詰将棋の手順

①メインメニュー画面で「詰将棋」を選択してください。問題作成画面が現れます。
②盤面編集の要領で問題図を作成します。
③通常は単玉（通常の問題）問題になっていますので、双玉（自分の王様もいる特殊な問題）問題を作成するときは□ボタンでメニューを開いて「双玉」を選択してください。
④問題作成が終了したら□ボタンでメニューを開いて「解答」を選択してください。コンピューターが思考に入ります。
⑤コンピューターが問題を解き終わると、「詰みました」というメッセージが表示され、正解手順が自動的に再現されます。再現終了後は対局終了後と同じように方向キーを使った棋譜再現が可能となります。
⑥棋譜再現後は○または×ボタンで再び問題作成画面になります。
⑦明らかに詰まない問題やコンピューターが一定の時間内に詰められなかった問題は、それらに対応したメッセージが表示されます。○ボタンを押すと、問題図に戻ります。
⑧コンピューターがなかなか解答を見つけられないときは、×ボタンで思考をさせることができます。画面は問題図に戻ります。
⑨問題作成中に終了するときは、□ボタンでメニューを開いて「詰将棋終了」を選択してください。


盤面編集の要領で問題作成


□ボタンでメニューを開き、解答を選択


解答後は棋譜を再現

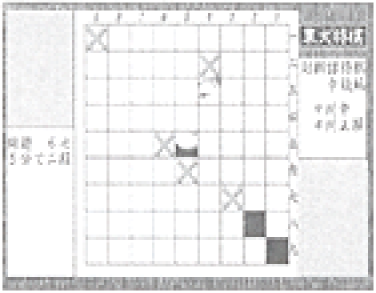
対戦詰将棋

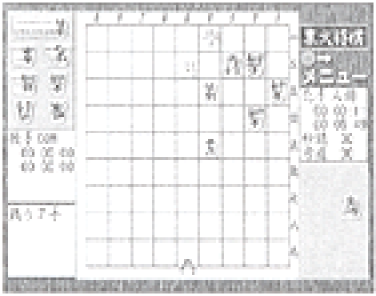
ユーザーの着手に対してコンピューターも考えながら最善の応手をしますので、対戦感覚の詰将棋が味わえます。

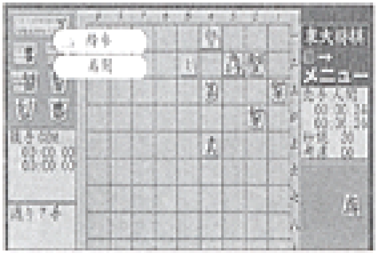
●対戦詰将棋の手順

問題選択

①メインメニュー画面で「対戦詰将棋」を選択してください。現れたメニューの中から「初級」(週刊将棋掲載の3手または5手詰め)か「中級」(伊藤果七段作成の詰将棋)を選択してください。
②それぞれの問題選択画面に移ります。カーソルを将棋盤の升目に合わせて問題を選択してください。対戦詰将棋がスタートします。
③左下に手数が表示されています。正しい着手を考えてください。持ち時間は7分、秒読み30秒にセットされています。それ以内に指さないと時間切れであなたの負けになります。
④正しい手順で詰んだ場合は棋譜再現の要領で手順を再現することができます。その後は○または×ボタンで問題選択画面に戻ります。
⑤途中で間違いに気付いた場合は□ボタンでメニューを開いて「降参」を選択してください。
⑥手数内に詰められなかった場合、時間切れになった場合、降参した場合は○ボタンを押してください。
⑦問題選択画面に戻ったとき、正解していれば盤面から画像が現れ、不正解なら赤い×がつきます。一度挑戦した問題は、すべての問題に挑戦した後でなければ再挑戦できません。
⑧問題選択画面で×ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。


問題選択画面


対戦詰将棋は王手の連続で玉を詰ますルール


対戦詰将棋中のメニュー

●詰将棋のルール

詰将棋には以下のルールがあります。

①王手の連続で詰ます　②詰め方、玉方ともに最善を尽くす
③玉方は残り駒全部を使用できる　④無駄な合駒をしない
⑤ほかは指し将棋の規定に準ずる

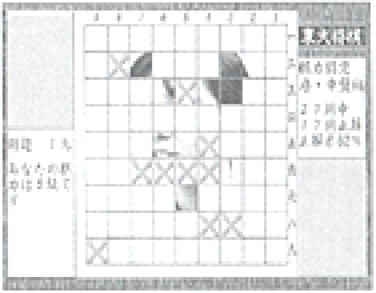
棋力認定

週刊将棋に掲載された棋力認定問題が収録されてあります。
次の一手を選んでご自分の棋力をご確認ください。

●棋力認定の手順

①メインメニュー画面で「棋力認定」を選択してください。現れたメニューの中から「序・中盤編」か「終盤編」を選択してください。問題選択画面に移ります。

②対戦詰将棋の問題選択と同じ要領で問題を選択してください。



問題選択画面

●序・中盤編

①「序・中盤編」は三択式の問題です。正解と思われる着手にカーソルを合わせて○ボタンを押してください。制限時間はありません。正解に対しても不正解に対してもコンピューターは手順を示した後、問題図から1手指した局面に戻って解説が表示されます。この解説は△ボタンを押している間は消すことができます。

②解説表示後は正解、不正解に限らず、○ボタンを押せば問題選択画面に戻ります。

③問題選択に戻ると正解の場合は盤面から画像が現れ、不正解の場合は赤い×がつきます。一度挑戦した問題はすべての問題に挑戦した後でなければ再挑戦できません。

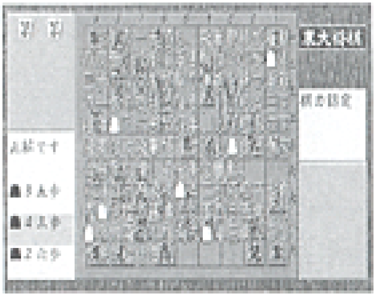
④81問の3分の1にあたる27問に挑戦し終わったときの正解率であなたの棋力が認定されます。以後は正解率によって棋力が変化します。

⑤2回目の挑戦からは好きな問題に挑戦できます。ただし、正解しても棋力認定は変化しません。

⑥問題選択画面で×ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。



3つの選択肢から正解を選ぶ



着手に応じた解説が現れる

＊注意＝ここでの棋力認定では正式の免状は取れません。免状を取りたい方は週刊将棋の認定試験に挑戦することをお勧めします。

●終盤編

①「終盤編」はコンピューター相手に問題図から継続対局をしてもらいます。時間制限対局のルール（持ち時間5分、秒読み30秒、考慮時間なし）で対局し、勝敗を競います。なお問題は正しい着手を見つければ必ず勝勢になるように作られています。

②対局中はメニューを開いても「投了」以外の機能は使えません（待った、ヒントも使えません）。一気に決着を付けてください。

③勝敗が決まると通常対局同様、方向キーで棋譜再現をすることができます。○または×ボタンで問題選択画面に戻ります。

④問題選択画面に戻ると勝利の場合は盤面から画像が現れ、敗北の場合は赤い×がつきます。一度挑戦した問題はすべての問題に挑戦した後でなければ再挑戦できません。

⑤81問の3分の1にあたる27問に挑戦し終わったときの勝率であなたの棋力が認定されます。以後は勝率によって棋力が変化します。

⑥2回目からは好きな問題に挑戦できます。ただし勝っても棋力認定は変化しません。

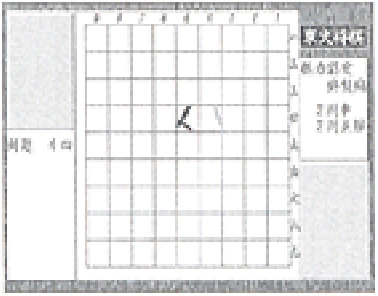
⑦問題選択画面で×ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。



問題図からコンピューターと継続対局



対局中のメニュー


勝てば画像が現れる

＊注意＝ここでの棋力認定では正式の免状は取れません。免状を取りたい方は週刊将棋の認定試験に挑戦することをお勧めします。

棋譜鑑賞

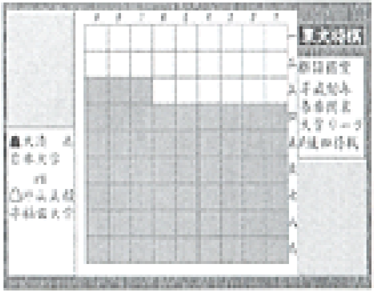
大学将棋の棋譜が鑑賞できます。

●棋譜鑑賞の手順

①メインメニュー画面で「棋譜鑑賞」を選択してください。現れたメニューの中から「大学将棋」か「棋譜読込」を選択してください。
②「大学将棋」を選択した場合は、棋譜選択画面に移ります。大学将棋の棋譜を鑑賞するとこができます。
③「棋譜読込」を選択した場合は、メモリーカードに保存されている棋譜を読み込んで鑑賞することができます。
④棋譜選択画面では対戦詰将棋の問題選択の要領でカーソルを盤面の升目に合わせて鑑賞したい棋譜を選択してください。盤面の右側に棋譜の内容、左側に対局者の情報が表示されます。
⑤棋譜の読み込みが終わったら、棋譜が自動的に再現されます。
⑥ストップさせたいときは□ボタンを押してください。方向キーで再現することができます。
⑦もう一度□ボタンを押すと自動再現に戻ります。
⑧再現中、再現後は○または×ボタンで棋譜選択画面に戻ります。
⑨棋譜選択画面で×ボタンを押すとメインメニュー画面に戻ります。



「大学将棋」か「棋譜読込」を選択



棋譜を選択

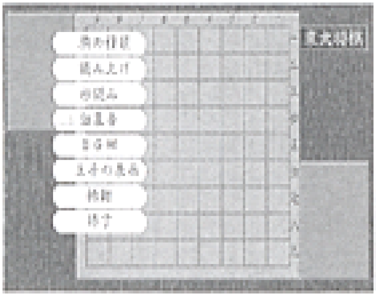


棋譜再現中

各種設定

「最強　東大将棋」を使ううえで、さまざまな設定を決定します。

●各種設定の内容



各種設定の内容

駒の種類

一文字駒か二文字駒かを決定します。

読み上げ

棋譜の読み上げの有無を決定します。

秒読み

秒読みの有無を決定します。

効果音

効果音の有無を決定します。

BGM

BGMの有無を決定します。

王手の表示

王手の表示の有無を決定します。「なし」を選択した場合は「振動」を「あり」にしても王手では振動しません。

振動

振動の有無を決定します。アナログコントローラを使用する場合に限り有効です。振動をありに設定すると以下の状況で振動します。くれぐれもご注意ください。

①相手に王手を掛けられたとき（目隠し対局の上級タイプを除く）
②目隠し将棋の上級タイプで反則をしたとき
③対局であなたの負けが決まったとき
④コンピューターが詰将棋の解答を解き終わったとき

終了

メインメニュー画面に戻ります。



碓井 涼子 プロフィル

1980年4月21日、富山県出身。
1993年、第25回女流アマ名人優勝。
同年8月、6級で桜井昇七段門。奨励会入会。
1994年4月、女流育成会入会。
同年10月、女流プロ2級。
1996年週刊将棋主催レディースオープン・トーナメント96準優勝。
同年10月、初段。
身長155cm、血液型O型、浦和市在住。
人気、実力急上昇中の若手のホープ。

使用上のご注意

●このディスクは家庭用ビデオゲーム・コンピュータ"PlayStation"専用のソフトです。他の機種でお使いになると、機器等の故障の原因や耳等の身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC | J マークあるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation"にのみ対応しています。海外仕様の"PlayStation"では使用できません。●「解説書」および"PlayStation"本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい使用方法でご愛用ください。

●このディスクを"PlayStation"本体にセットする場合は、必ずレーベル面(タイトル等が印刷されている面)を上にしてください。また、中央部分を軽く押し込み、ディスクを安定させてください。●プレイ終了後"PlayStation"本体からディスクを取り出す場合は、本体のオープンボタンを押し、ディスクの回転が完全に止まったのを確認してから行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたりディスクを傷つけたり本体の故障の原因になりますので、絶対におやめください。●ディスクは両面とも、指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。またシール等を貼付したり、鉛筆、ペン等で文字や絵を書かないでください。●ディスクが汚れた時はメガネふきのような柔らかい布で、内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取ってください。その時、レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤等で補修されたディスクは誤作動の原因になりますので絶対に使用しないでください。●直射日光のあたる場所、暖房機器の近く等高温の所には保管しないでください。また、湿気の多い所も避けてください。●ケースやディスクの上に、重いものを置いたり落としたりすると、破損しけがをすることがありますので絶対におやめください。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損等に関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●"PlayStation"本体をスクリーン投影方式のテレビ(プロジェクション・テレビ)には絶対接続しないでください。残像光量による画面焼けが生じることがあります。●ソフトによってはメモリーカードが必要な場合があります。「解説書」で確認してください。

健康上のご注意

●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状が起きた場合は、すぐに中止し医師の診察を受けてください。

製作・販売：株式会社毎日コミュニケーションズ
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル
TEL03-3211-2568
●インターネット
毎日コミュニケーションズホームページ
http://www.pc.mycom.co.jp/soft

SLPS 01679